

平成29年度
子育てしやすい街づくりのためのアンケート調査
～子どもと子育てに関する市民意識調査～

調査結果分析報告書

佐世保市 子ども未来部

アンケート調査について

佐世保市子ども未来部では子育て中の保護者の方を対象として、「子育てしやすい街づくりのためのアンケート調査～子どもと子育てに関する市民意識調査～」を実施しました。

その内容としては

- 「2人目の壁（※）は実際に存在すると思いますか？」
- 「2人目以上のお子さんを持つことに対するためらいは？」
- 「産休や育休を取るときに気になることは？」

このような質問項目を設け、妊娠、出産、子育てや仕事の両立などについて、市民の皆さんから率直なご意見をいただき、その調査結果を基に「1人目の出産年齢」「世帯の合計年収」「ママの就業状況」等によって、どのような違いがあるのか分析を行いました。

※「2人目の壁」とは、「必要となる生活費や教育費に関連した家計の見通しや、仕事等の環境、年齢等を考慮し、第2子以後の出産をためらうこと」です。

●調査概要

- 調査期間：平成29年8月25日（金）～ 9月22日（金）
- 調査方法：市ホームページでのWebアンケート
- 調査対象：市内在住で子育て中の保護者の方（20歳～49歳）
- 質問項目：31問

●回答者数：596人

回答者内訳	フルタイム勤務ママ	221人
	パートタイム勤務ママ	132人
	専業主婦ママ	122人
	働くパパ	101人
	専業主夫パパ	1人
	その他	19人

【目次】

●調査結果分析概要	… P 3
●各調査の分析結果	
1 出産における理想と現実について	… P 4
2 「2人目の壁」について	… P 6
3 「出産・子育て」と「働き方」について	… P 8
4 佐世保市は子どもを「産みやすい」「育てやすい」街に近づいているか？	… P 13

調査結果分析概要

1 出産における理想と現実について

子どもの数の理想と現実を埋めるポイントは、1人目の出産年齢

持ちたい子どもの数について尋ねたところ、理想は「3人」（57.7%）が最も多く、次いで「2人」（32.0%）であるが、実際に持つ（予定）は「2人」（56.8%）、「3人」（28.4%）となっており、理想と現実のギャップがあることがわかりました。

実際に持つ（予定）の子ども数で最も違いがあるのは1人目の出産年齢で、「20歳～24歳」では2人以上を望む割合が90.9%と高くなっているが、出産年齢が高くなるほど2人以上を望む割合が低くなることがわかりました。

また、世帯の合計収入では、300万円より低くなると2人以上を望む割合が低くなり、ママから見たパパの休日の家事・育児にかかる時間が多くなるほど、2人以上を望む割合が高くなることがわかりました。

2 「2人目の壁」について

「2人目の壁」を感じるポイントは、「年齢」「家計」「仕事との両立」

「2人目の壁」を感じるか尋ねたところ、「感じる（感じた）、あるいは、感じそう」と「やや感じる（感じた）、あるいは、感じそう」の合計は65.5%で昨年度の54.8%より増加していました。

1人目の出産年齢でみると、出産年齢が高くなるほど「2人目の壁」を感じる割合が高くなり、世帯の合計収入では400万円より低くなると、「2人目の壁」を感じる割合が高くなることがわかりました。

ママが「2人目の壁」を感じる理由では、パートタイム勤務ママの「子育てや教育など家計の見直し」（92.0%）、フルタイム勤務ママの「産休取得など仕事への影響」（62.5%）について、他のママより割合が高くなっていることがわかりました。また、「出産・子育ての年齢的な理由」が全体の3位（44.4%）となっており、年齢についても「2人目の壁」を感じる大きな要素となっていることがうかがえます。

3 「出産・子育て」と「働き方」について

子どもをもう1人持つためには、「柔軟な働き方」「職場の理解」「保活」がポイントに

働く時間や場所を自由に選べれば、もう1人子どもを持ちたいか尋ねた結果、「はい」は全体が60.1%、子ども1人の方が82.7%でした。また、「保活」がなければ、もう1人子どもを持ちたいか尋ねた結果、「はい」は全体が47.8%、子ども1人の方が73.5%でした。働くママに制度と企業風土が整えば働き続けたいか尋ねた結果、「はい」は全体が94.1%、子ども1人の方が96.9%でした。これらのことから、子ども1人の方は、子どもが2人以上の方よりも条件が整えばもう1人子どもを持ちたいと考えていることがうかがえます。

産休や育休を取得するにあたって気になることを尋ねたところ、「上司の目（態度・反応）が気になる（気になった）」（43.6%）、「同僚の目（態度・反応）が気になる（気になった）」（41.2%）、「職場に取りづらい空気がある」（26.7%）の割合が高く、育休取得の理想の条件では「保活の心配がいらぬ」（50.7%）、「育休を取得することがキャリアのマイナスにならない」（46.3%）、「育休期間中に定期的に会社とコミュニケーションをとれて、職場から孤立しない」（45.2%）の割合が高いことがわかりました。また、育休から復帰するときの理想の条件を尋ねたところ、「子どもの看護や行事のために休暇をとれる」（81.7%）、「短時間勤務（時短）で働ける」（43.2%）、「深夜残業や休日出勤をしなくてよい」（37.9%）の割合が高いことがわかりました。

4 佐世保市は子どもを「産みやすい」「育てやすい」街に近づいているか？

5割以上が「産みやすい」「育てやすい」街に近づいていると思っているが、地域や子どもの人数によって違いがある

佐世保市が子どもを「産みやすい」「育てやすい」街に近づいていると思うか尋ねたところ、「近づいていると思う」、「どちらかといえば、近づいていると思う」の合計は、どちらも55.6%でした。

回答者の居住地区でみると南部地区が最も高く、北部になるほど低くなっており、現在の子ども数でみると「子ども1人」が最も高く、子どもが多いほど低くなっていることから、居住地区や子どもの数によって違いがあることがわかりました。

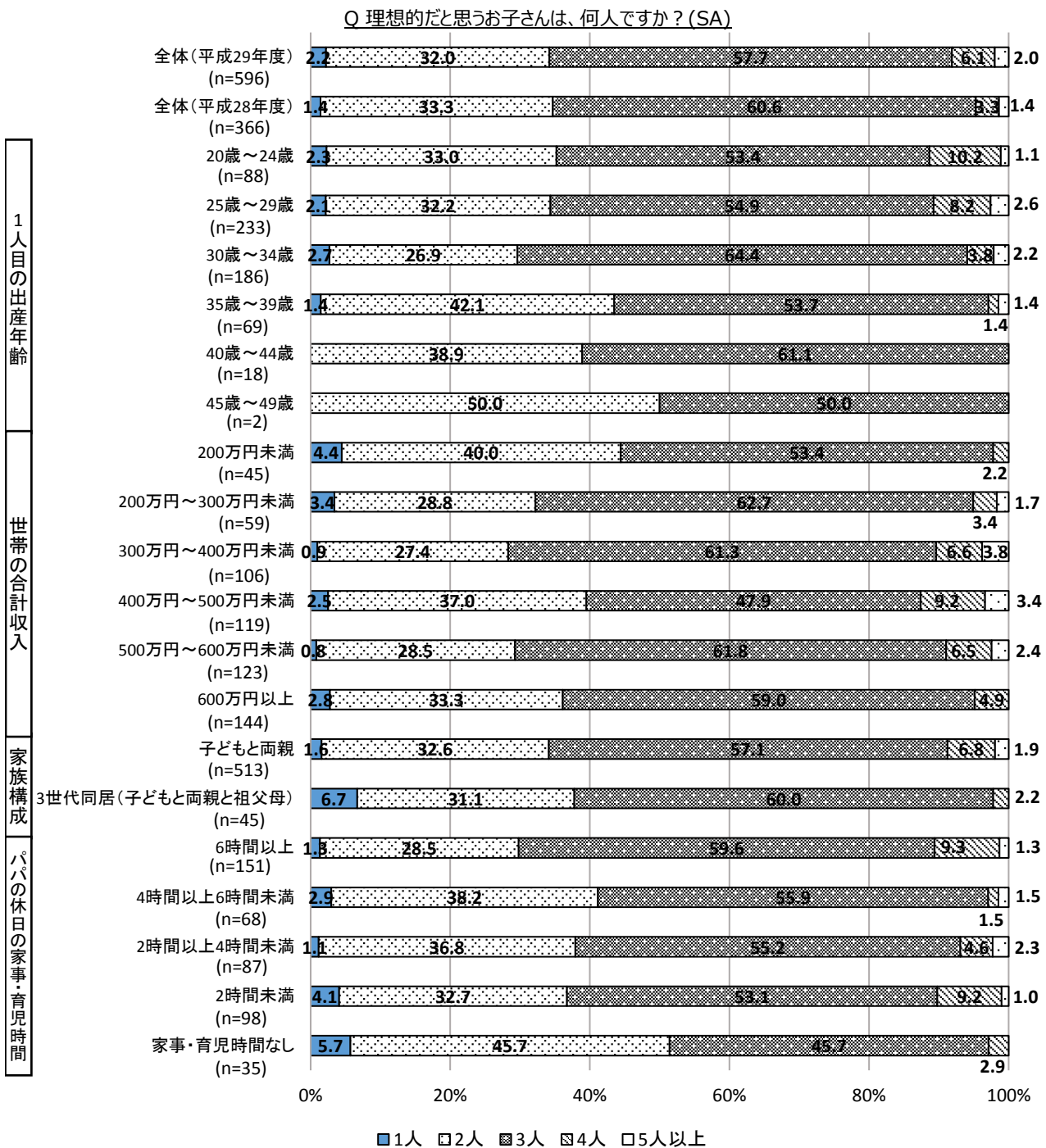
各調査の分析結果

1 出産における理想と現実について

①理想の子どもの人数は「3人」が57.7%、「2人」が32.0%

理想の子どもの数を尋ねたところ「3人」が57.7%と最も多く、次いで「2人」が32.0%でした。昨年度も同じ傾向となっており、本市の子育て世代は多くの子どもを望んでいることがわかりました。

類型別にみると、1人目の出産年齢が20歳から34歳にかけては、3人以上を望む人の割合が65%程であるのに対し、35歳以上ではその割合が低くなることわかりました。世帯の合計収入では、200万円未満から400万円未満にかけて収入が高くなるほど、2人以上の子どもを望む割合が高くなることわかりました。家族構成では、3世代同居が子どもと両親の世帯よりも2人以上の子どもを望む割合が5.1ポイント高く、ママから見たパパの休日の家事・育児にかかる時間では、かける時間が多いほど3人以上の子どもを望む傾向があることがわかりました。

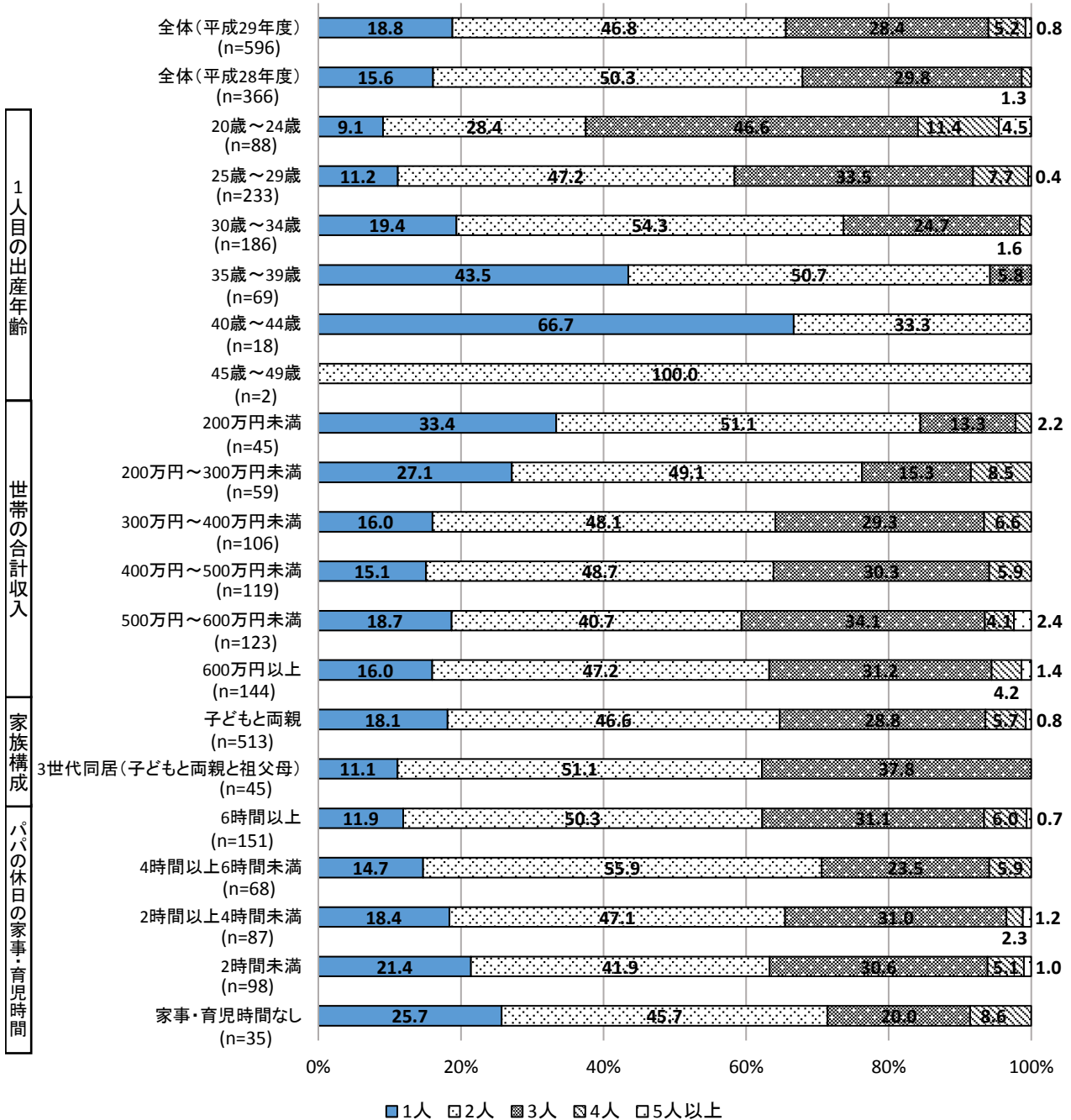


②実際に持つ（予定の）子どもの数は「2人」が56.8%、「3人」が28.4%

実際に持つ（予定）の子どもの数を尋ねたところ、理想とは逆に「2人」が56.8%と最も多く、次いで「3人」が28.4%でした。この結果は、昨年度も同じ傾向でした。

類型別にみると、1人目の出産年齢が高くなるほど、2人以上の子どものを望む割合が低くなることがわかりました。世帯の合計収入では、300万円より低くなるほど、2人以上の子どものを望む割合が低くなることがわかりました。家族構成では、3世代同居が子どもと両親の世帯よりも2人以上の子どものを望む割合が7.0ポイント高く、ママから見たパパの休日の家事・育児にかける時間では、かける時間が多いほど2人以上の子どものを望む傾向があることがわかりました。

Q 実際に持つ(予定の) お子さんの数は何人ですか？(SA)



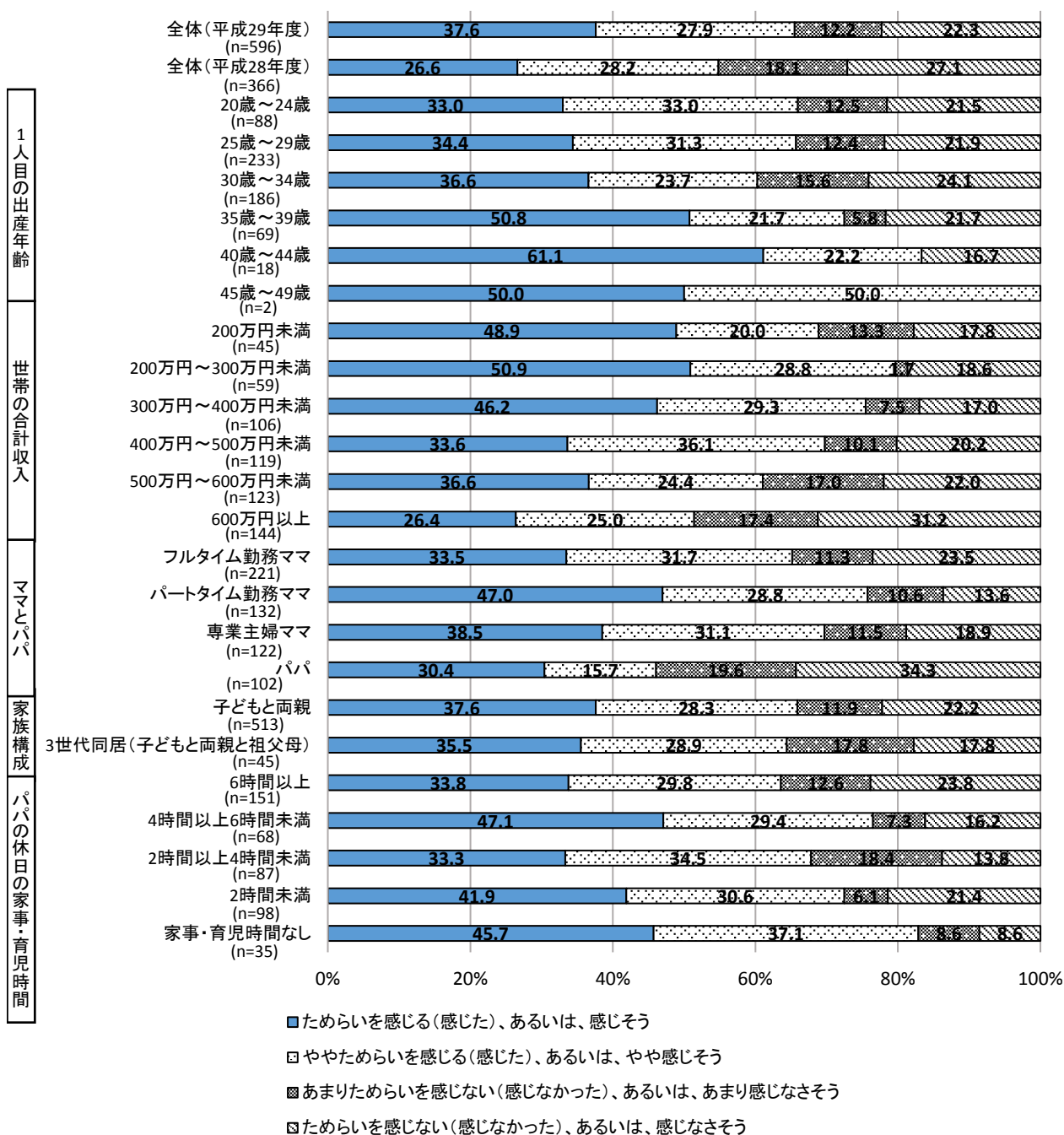
2 「2人目の壁」について

①「2人目の壁」を感じる（感じた）、感じそうは37.6%

「2人目の壁」を感じるか尋ねたところ、「感じる(感じた)、あるいは、感じそう」が37.6%、「やや感じる(感じた)、あるいは感じそう」が27.9%でした。昨年度と比較して、「感じる(感じた)、あるいは、感じそう」が11.0ポイント高くなっていました。

類型別にみると、1人目の出産年齢が高くなるほど、「2人目の壁」を感じる割合が高いことがわかりました。世帯の合計収入では、収入が低くなるほど「2人目の壁」を感じる割合が高くなる傾向がありました。ママの就業別でみると、パートタイム勤務ママの「2人目の壁」を感じる割合が47.0%と最も多く、やや感じると合計すると75.8%と高い割合になることがわかりました。一方、パパはママと比較して「2人目の壁」を感じる割合が30.4%と低く、やや感じると合計した割合でも46.1%と低いことがわかりました。家族構成では、3世代同居と子どもと両親の世帯による大きな差はなく、ママから見たパパの休日の家事・育児にかける時間では、かける時間が少ないほど「2人目の壁」を感じる割合が高い傾向にあることがわかりました。

Q あなたのご家庭では、特に2人目以上のお子さんを持つことに対して、ためらいを感じますか（感じましたか）、あるいは、今後感じそうですか？(SA)



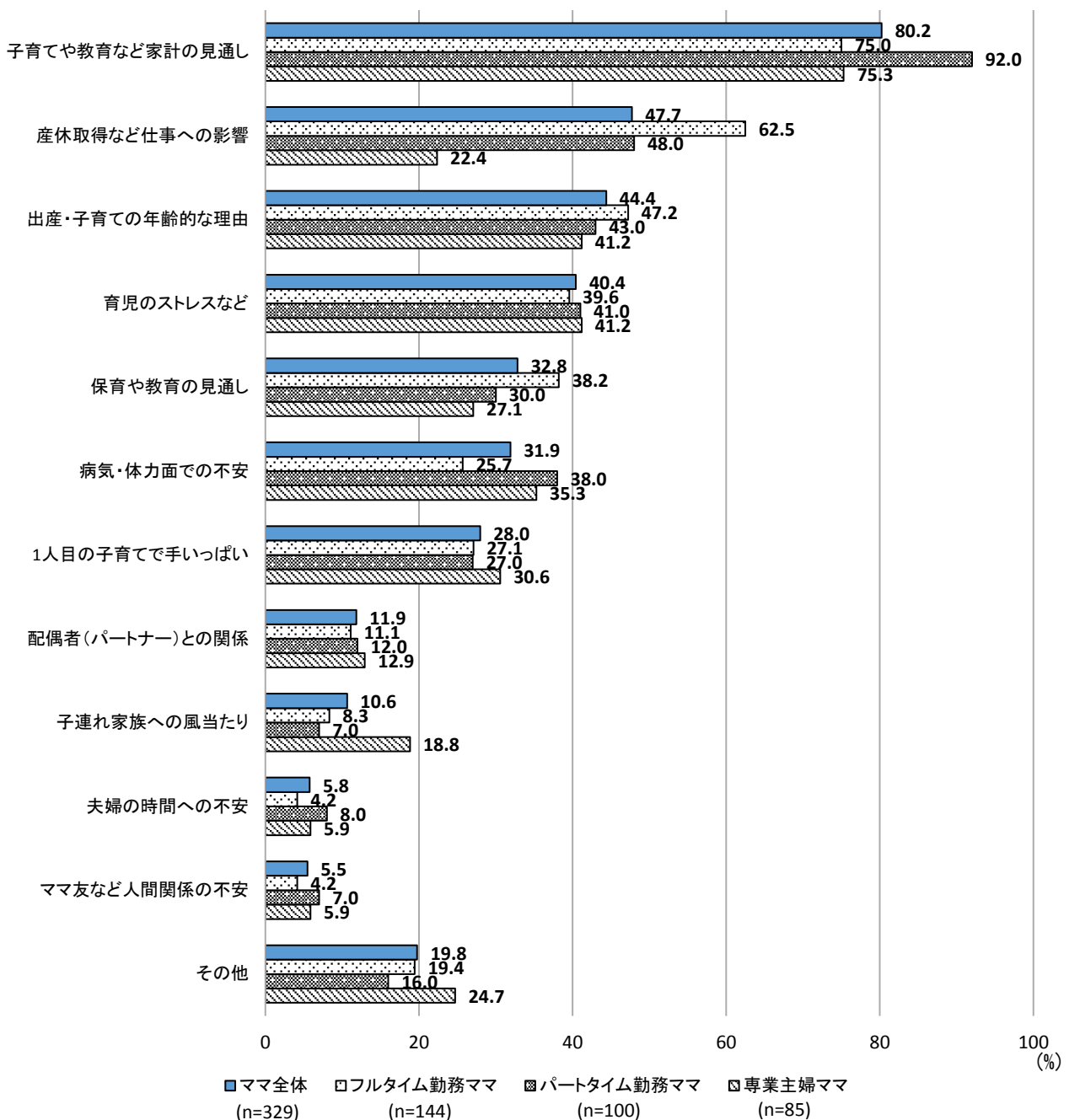
②「2人目の壁」を感じる原因は、「子育てや教育など家計の見通し」が80.2% フルタイム勤務ママにとっては「産休取得など仕事への影響」も高い理由に。

ママに「2人目の壁」を感じる理由を尋ねた結果、「子育てや教育など家計の見通し」が全ての就業状況のママで1位となりました。続いて「産休取得など仕事への影響」（47.7%）が全体の2位、「出産・子育ての年齢的な理由」（44.4%）が3位となりました。

ママの就業状況でみると、フルタイム勤務ママは「産休取得など仕事への影響」（62.5%）、「保育や教育の見通し」（38.2%）が他のママと比較して高い傾向であることがわかりました。パートタイム勤務ママは「子育てや教育など家計の見通し」が92.0%と他のママより特に高いことがわかりました。専業主婦ママは「1人目の子育てで手いっぱい」（30.6%）、「子連れ家族への風当たり」（18.8%）が他のママより高くなっており、働くママとのライフスタイルの違いによる悩みがあることがうかがえます。

Q「2人目の壁」を感じる理由として当てはまるものを、次の中から選んでください。（MA）

※「2人目の壁」を感じる、やや感じると答えた方限定



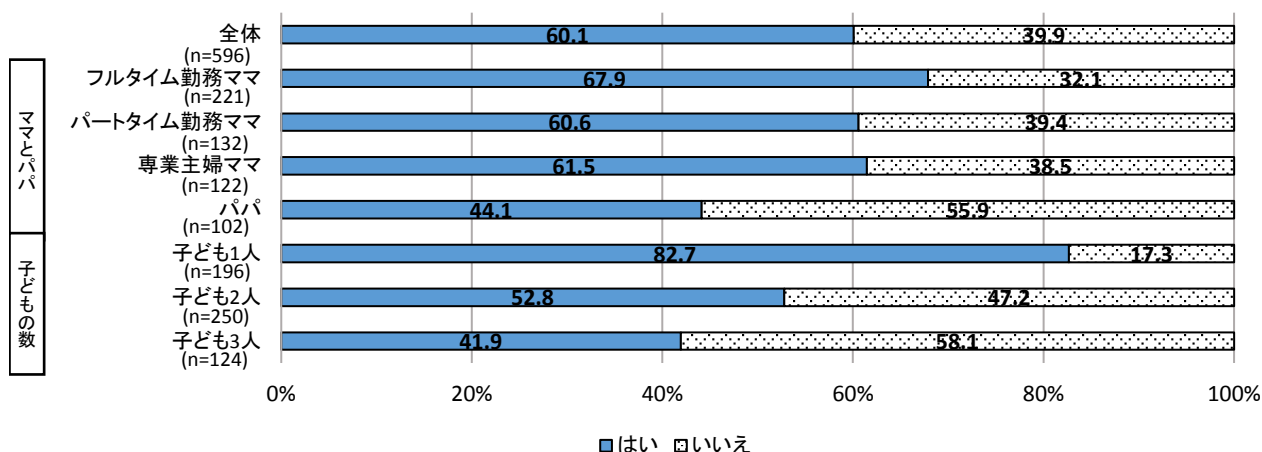
3 「出産・子育て」と「働き方」について

① 働く時間や場所を自由に選べれば、60.1%がもう1人子どもを持ちたい。 特に「子ども1人」の人は82.7%が、もう1人子どもを持ちたい。

働く時間や場所を自由に選べれば、もう1人子どもを持ちたいか尋ねたところ、60.1%が「はい」と回答しました。

ママとパパでは、フルタイム勤務ママが67.9%と最も高く、パパは44.1%とママより低い割合であることがわかりました。現在の子ども数でみると、「子ども1人」が82.7%と非常に高い割合となっており、子どもの数が増えるほど低い割合となっていることがわかりました。

Q 子育て期間の働く時間（短時間勤務等）や場所（テレワーク・在宅勤務等）を自由に選ぶことができれば、もう1人子どもを持ちたいですか？(SA)



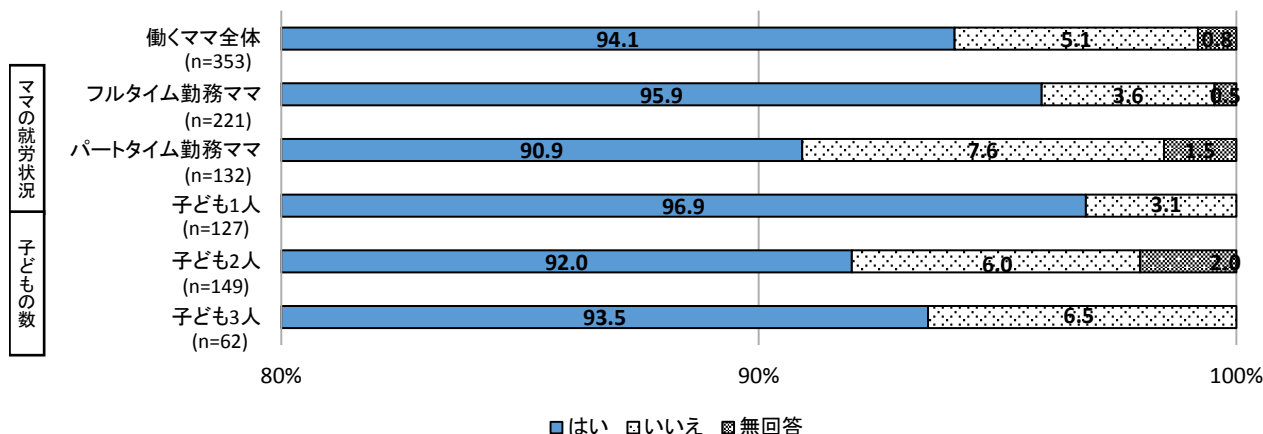
② 働くママの94.1%が制度と企業風土が整えば、働き続けたい。 「フルタイム勤務ママ」と「子ども1人」の働くママは、特に高い割合に。

働くママに制度と企業風土が整えば働き続けたいか尋ねたところ、94.1%が「はい」と回答しました。

ママの就業状況でみると、フルタイム勤務ママが95.9%とパートタイム勤務ママより5ポイント高いことがわかりました。現在の子ども数でみると、「子ども1人」が96.7%と最も高く、次いで「子ども3人」（93.5）、「子ども2人」（92.0%）となっていることがわかりました。

Q 妊娠や出産、子育てに関する制度と企業風土が整っていれば、働き続けたいですか？(SA)

※フルタイム勤務ママとパートタイム勤務ママ限定



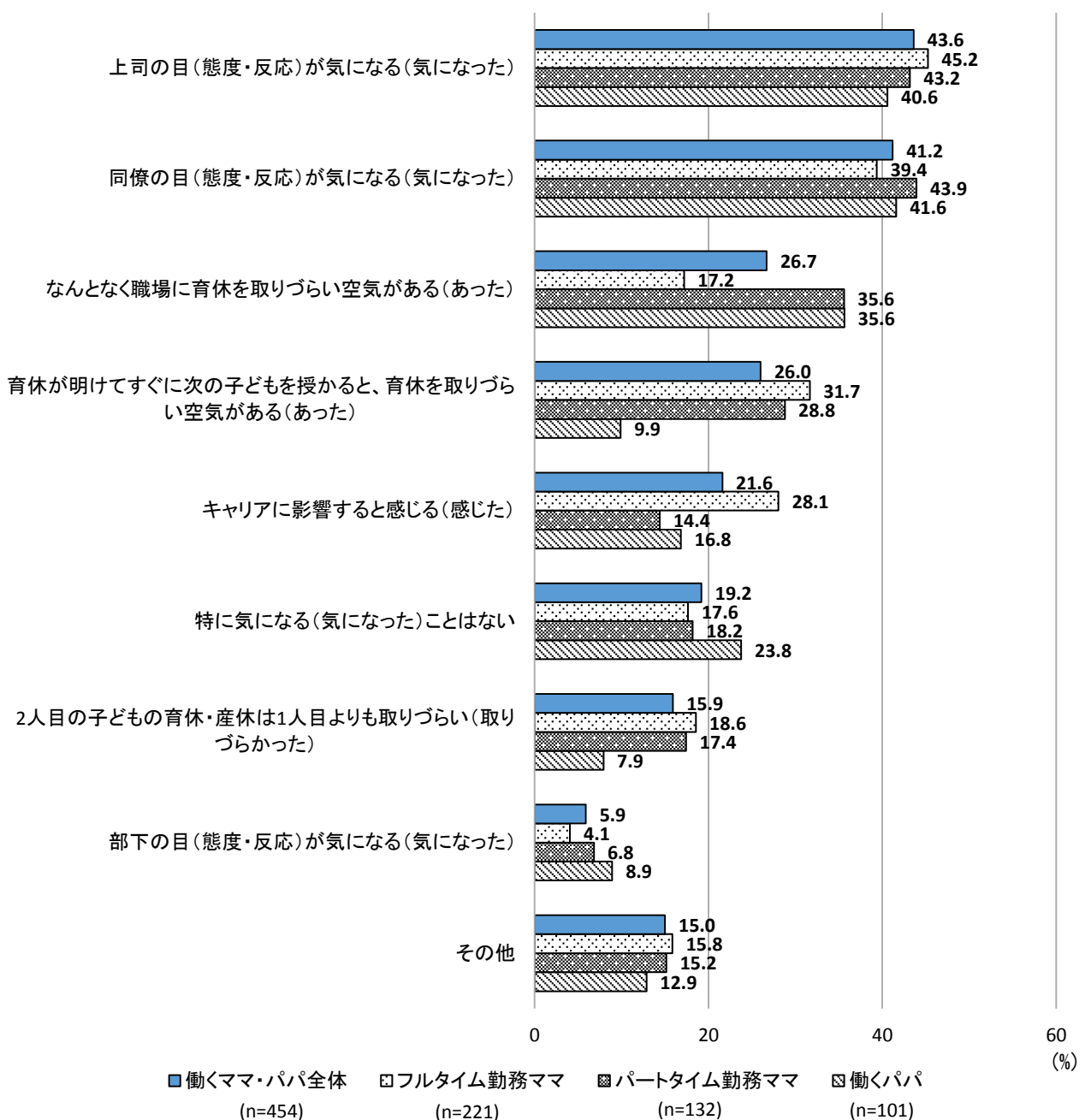
③育休取得にあたっては、約4割が「上司、同僚の目が気になる」 「育休を取りづらい空気がある」も高い割合に。

働くママとパパに産休や育休を取得するにあたって気になることを尋ねたところ、「上司の目（態度・反応）が気になる（気になった）」（43.6%）が最も高い割合となりました。

ママの就業状況でみると、フルタイム勤務ママは「育休が明けてすぐに次の子どもを授かると、育休を取りづらい空気がある（あった）」（31.7%）、「キャリアに影響すると感じる（感じた）」（28.1%）が他のママや働くパパよりも割合が高く、パートタイム勤務ママは「同僚の目（態度・反応）が気になる（気になった）」（43.9%）、「なんとなく職場に育休を取りづらい空気がある（あった）」（35.6%）が他のママや働くパパよりも割合が高いことがわかりました。一方、働くパパは「なんとなく職場に育休を取りづらい空気がある（あった）」（35.6%）、「特に気になる（気になった）ことはない」（23.8%）が働くママよりも割合が高いことがわかりました。

Q あなたが産休や育休を取得するにあたって気になる（気になった）ことを、次の中から選んでください。（M/A）

※働くママとパパ限定



④ 育休を取得するときの理想の3大条件

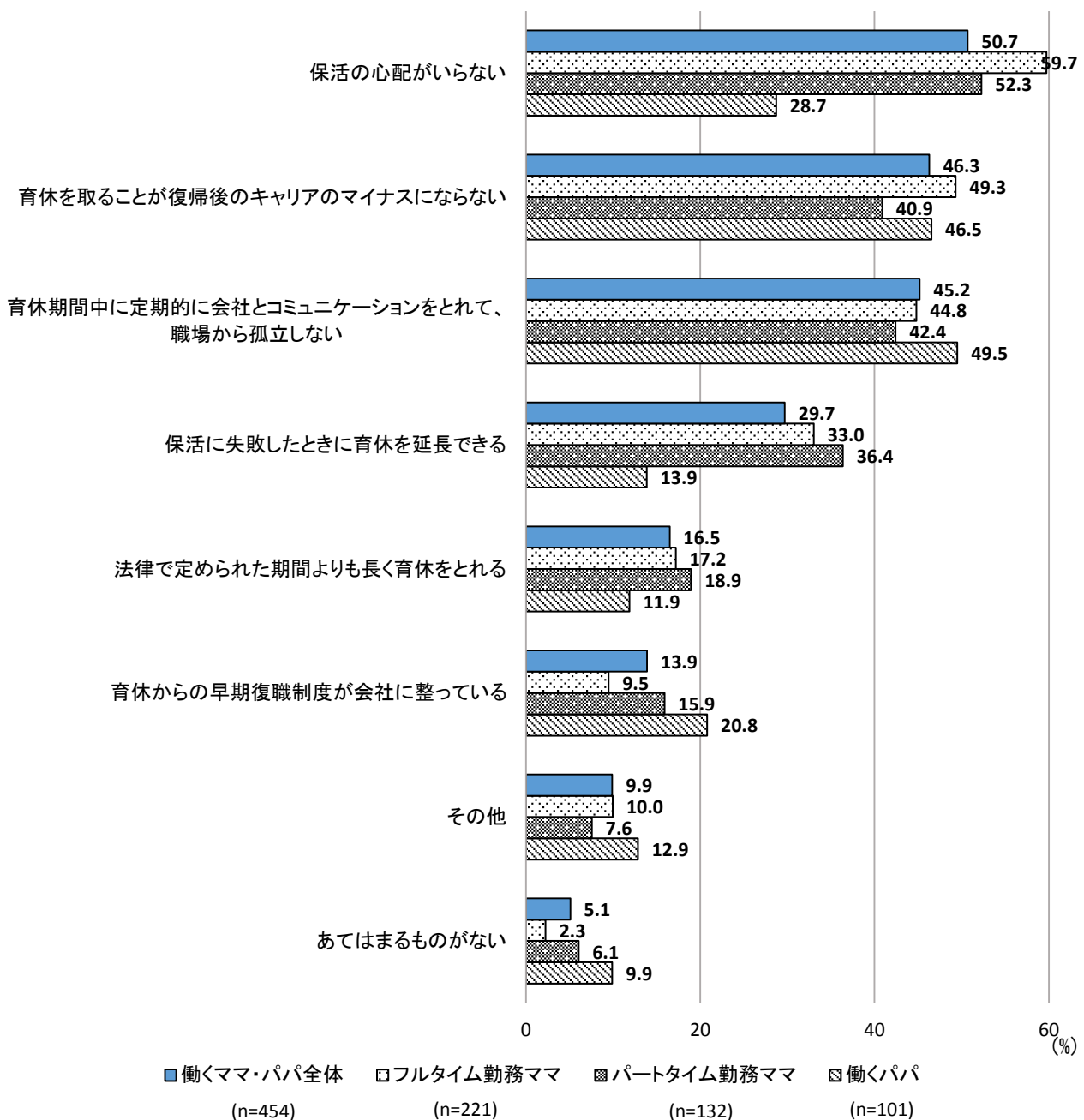
① 保活の心配がない ② キャリアのマイナスにならない ③ 職場から孤立しない

働くママとパパに育休を取得するときに重要だと感じる理想の条件を尋ねました。育休取得の理想の条件トップ3は、1位「保活の心配がいない」(50.7%)、2位「育休を取得することがキャリアのマイナスにならない」(46.3%)、3位「育休期間中に定期的に会社とコミュニケーションをとれて、職場から孤立しない」(45.2%)となりました。

ママの就業状況でみると、フルタイム勤務ママは「保活の心配がいない」(59.7%)、「育休を取得することがキャリアのマイナスにならない」(49.3%)が他のママや働くパパよりも割合が高く、パートタイム勤務ママは「保活の心配がいない」(52.3%)、「育休期間中に定期的に会社とコミュニケーションをとれて、職場から孤立しない」(42.4%)の割合が高いことがわかりました。働くパパは、「育休を取得することがキャリアのマイナスにならない」(46.5%)について、働くママより割合が高いことがわかりました。

Q あなたが育休を取得するときに、重要だと感じる理想の条件を3つまで、次の中から選んでください。(MA)

※働くママとパパ限定



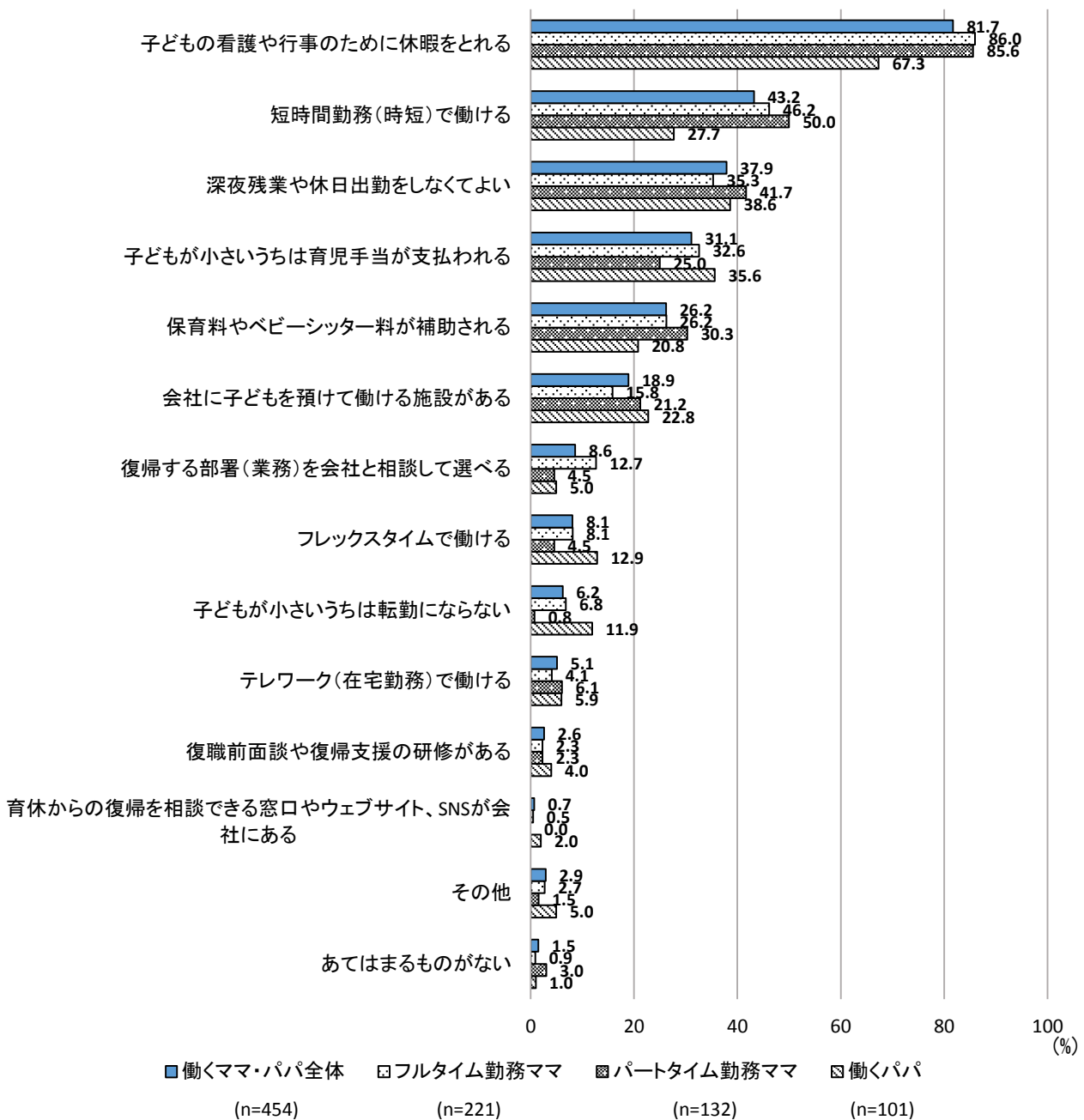
⑤育休から復帰するときの理想の3大条件 ①子どものための休暇がとれる ②短時間勤務で働ける ③深夜残業や休日出勤をしなくてよい

働くママとパパに育休から復帰するときに重要だと感じる理想の条件を尋ねました。育休復帰の理想の条件トップ3は、1位「子どもの看護や行事のために休暇をとれる」（81.7%）、2位「短時間勤務（時短）で働ける」（43.2%）、3位「深夜残業や休日出勤をしなくてよい」（37.9%）となりました。

ママの就業状況でみると、フルタイム勤務ママは「子どもの看護や行事のために休暇をとれる」（86.0%）が他のママや働くパパより割合が高く、パートタイム勤務ママにおいても「子どもの看護や行事のために休暇をとれる」（86.0%）の割合が高く、「短時間勤務（時短）で働ける」（50.0%）、「深夜残業や休日出勤をしなくてよい」（51.7%）については、他のママや働くパパよりも割合が高いことがわかりました。また、上位2項目については、働くママとパパの結果が20ポイント程度の開きがあり、子育てと仕事の両立についてママの負担が大きいことがうかがえます。

Q あなたが育休を取得するときに、重要だと感じる理想の条件を3つまで、次の中から選んでください。（M A）

※働くママとパパ限定



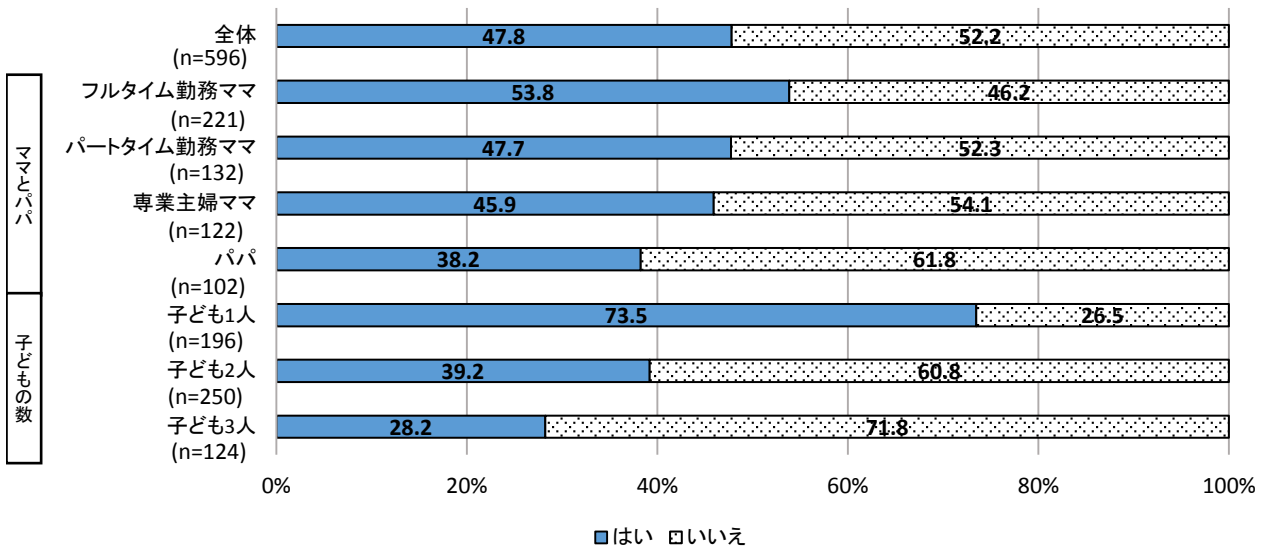
⑥「子ども1人」の7割以上が「保活」がなければ、もう1人子どもを持ちたい。

保育所に入所するための活動、いわゆる「保活」がなければ、もう1人子どもを持ちたいか尋ねたところ、47.8%が「はい」と答えました。

ママの就業状況でみると、「はい」と答えた割合はフルタイム勤務ママが53.8%と最も高く、続いてパートタイム勤務ママ（47.7%）、専業主婦ママ（45.9%）でした。一方、パパの「はい」と答えた割合は38.2%と、ママより低いことがわかりました。現在の子どもの数でみると、「はい」と答えた割合は「子ども1人」が73.5%と非常に高く、子どもの数が増えるほど低くなっていることがわかりました。育休取得時の理想の条件で「保活の心配がいない」が最多回答となったように、「保活」は理想の子どもを持つための大きなポイントになっていることがうかがえます。

Q「保活」がなければもう1人子どもを持ちたいですか？（SA）

※「保活」とは、子どもが保育所に入所するために保護者が行う活動のことです。



4 佐世保市は子どもを「産みやすい」「育てやすい」街に近づいているか？

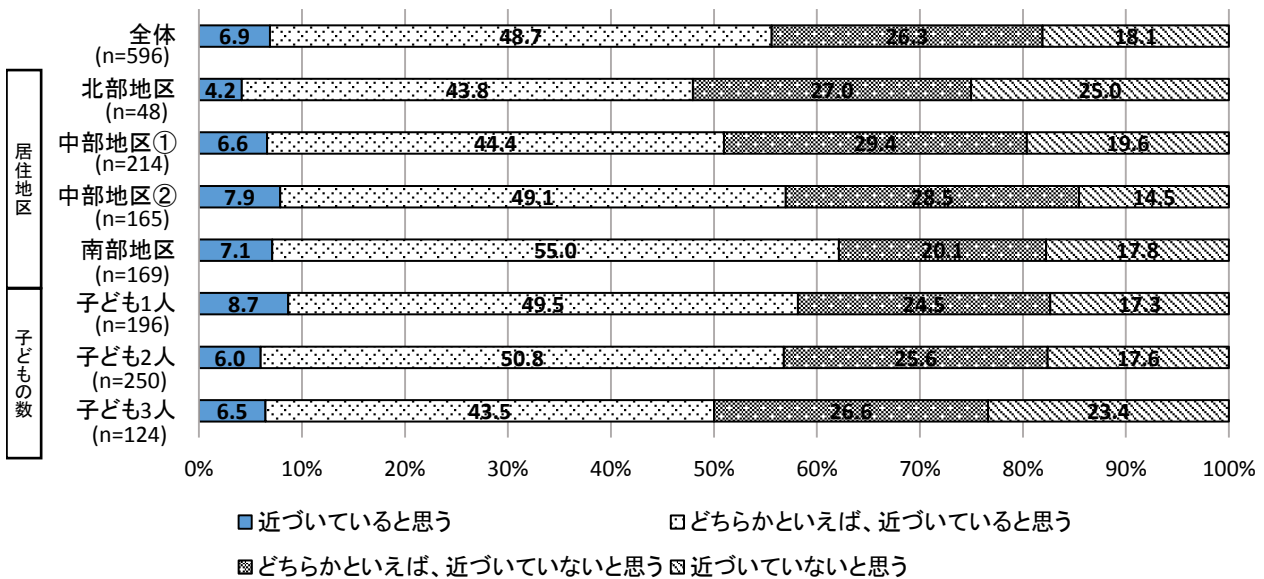
子どもを「産みやすい」「育てやすい」街に近づいていると思う人は、「南部地区」「子ども1人」が最多

佐世保市が子どもを「産みやすい」「育てやすい」街に近づいていると思うか尋ねたところ、どちらも6.9%が「近づいていると思う」、48.7%が「どちらかといえば、近づいていると思う」と回答しました。

「近づいている」「どちらかといえば、近づいている」と答えた割合は、回答者の居住地区でみると南部地区が最も高く、北部になるほど低くなっており、現在の子どもの数でみると「子ども1人」が最も高く、子どもが多いほど低いことがわかりました。

北部地区（江迎・鹿町・吉井・世知原・小佐々・浅子・宇久）
 中部地区①（野崎・愛宕・日野・相浦・黒島・中里・大野・柚木）
 中部地区②（光海・清水・祇園・山澄・福石・崎辺）
 南部地区（日宇・早岐・広田・宮・三川内・東明）

Q 佐世保市は子どもを「産みやすい」街に近づいていると思いますか？(SA)



Q 佐世保市は子どもを「育てやすい」街に近づいていると思いますか？(SA)

